アブストラクト・テーブル（抄録一覧表）

[Meta-analysis, systematic review]

抄録 番号	著者 年(新しい順)	Patient	Exposure/Intervention	Outcome

[DB-RCT, RCT, CCT]

抄録 番号	著者 年(新しい順)	Patient	Exposure/Intervention	Outcome

[cohort study, case control study, case series, case report]

抄録番号	著者 年(新しい順)	Patient	Parameter	Result
3-4-1	Takeshita F（1997）	歯科インプラント植立患者	X 線 CT パノラマ X 線撮影 dental implant stent	フィクスチャー埋入位置診査用の材料として MMA レジンのポリマーと硫酸バリウムを混ぜたモノマーを使用したレジンとステンレス管が適する。
3-4-2	Borrow JW（1996）	歯科インプラント植立患者 45 名	X 線 CT dental implant stent	１）鉄製スプルーはアーチファクトが生じ不適。 ２）ガッタパーチャは適度のＸ線造影性があり有用。 ３）バリウム含有の各種歯科用剤をステントに塗布して使用すると有用。 ４）Ｘ線不透過性の疑似歯にホールをあけて空気を使用することは有用。
3-4-6	土田富士夫（2002）	下顎への歯科インプラント植立患者	X 線 CT dental implant stent	X 線不透過性が低いシリコーン製剤とシリコーン系バイト材を使用したステントは X 線 CT 検査において障害陰影の発生がなく、粘膜面とステントとの境界、およびインプラント体の埋入位置と方向が描出されて有用であった。
3-4-3	市川正幸（2001）	歯科インプラント植立患者	X 線 CT dental implant stent	ステントの上部構造部に MMA コートバリウムを３％、５％、７％含有させたレジンは濃度差のある CT 画像を

				得るために有用であった。
3-4-5	嶋田淳 （1999）	歯科インプラント植立患者	X 線 CT パノラマ X 線撮影 dental implant stent	ステントの材料として使用するレジンにX線不透過性を付与することと、植立部位と方向の表示用のX線不透過性材料の使用を推奨している。
3-4-4	石上友彦 （1997）	歯科インプラント植立患者	X 線 CT dental implant stent	フィクスチャー埋入位置診査用の材料としてアルミ管が適する。